

会議の名称	桶川市立加納小学校 第1回学校運営協議会	
開催日時	令和5年4月24日(月) (開会) 10:00 (閉会) 12:00	
開催場所	桶川市立加納小学校 会議室	
出席者氏名(委員)	並木 ゆき子 委員 吉田 耕造 委員 宮野 幸雄 委員 小池 典子 委員 野澤 秋穂 委員 大川 泉 委員 本木 隆 委員 安達 悦子 委員 寶田 一聡 委員 柿沼 康伸 委員 校長 杉山 由美子	
欠席者氏名(委員)	なし	
傍聴者	なし	
議題	(1) 委員長及び副委員長、事務局担当の選出 (2) 学校運営の基本方針及び教育活動の概要説明 (3) 熟議(意見交換) (4) 授業参観懇談	
協議 等 要 旨	協議結果	意見の概要
	(1) 委員長 本木 隆 委員 副委員長 並木 ゆき子 委員 事務局 寶田 一聡 委員 柿沼 康伸 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校からの推薦を受けて承認。</li> <li>事務局については、職員と各委員とで連携しながら進める。</li> </ul>
	(2) 承認 ・学校運営の基本方針について、重点とする課題についての共通理解が図れた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>承認する。</li> <li>報告連絡相談に確認を加えた。担任等の対応について、その後の状況について管理職が確認をする必要があるため位置づけた。</li> <li>「和を大切にすること」と「個性尊重」の両立について、まずは、一人一人の子供の話をよく聞くことが大切である。</li> <li>令和5年度に特に力を入れたいことについて確認をした。(配布した学校経営案の太字部分であることを確認)</li> </ul>
(3) 熟議 ・いじめ重大事態に係るいじめ調査組織について	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校のいじめ調査組織へ客観的な立場として学校運営協議会委員が入ることについては理解した。</li> <li>それぞれの立場を踏まえ、ケースバイケースでお願いをする場合があると理解していた</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上に係る端末の自宅での活用について（デジタルドリル）</li> </ul>	<p>だきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・端末の持ち帰りに際しては、荷物が重くならないよう児童の負担を考慮する。デジタルドリルについては、今年度は無償なので、紙ドリルと併用していく。メリットとデメリットについて検証する。</li> <li>・キュビナの活用について、保護者への説明は、具体的な説明があるとよい。</li> <li>・端末を自宅に持ち帰り、遊び等の必要のないことに使うことはないのか。</li> <li>・基本的にできないように設定されている。また、履歴が残り容易に確認できるので個別に指導も可能である。</li> </ul>
	<p>(4) 授業参観の感想と懇談</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生が落ち着いていた。補助員が配置されていることも安心感がある。</li> <li>・児童が参加型の授業が行われていた。児童が楽しそうに学んでいた。</li> <li>・掲示物の児童のコメントに校長の示す「和」を思わせる内容が多くあるように感じた。</li> <li>・デジタルドリルについては、使いようによってよくも悪くもなりうると考える。うまく活用してほしい。</li> <li>・安心、安全をテーマに数年やってきた。児童の登下校の様子に注目してほしい。一人で帰る児童、ふざけなのかいじめなのか等々。</li> <li>・昨年度、加納中との合同会議の中で、小中連携の話の中で、部活動についての事前の情報提供について端末等を活用したプロモーションを計画できないか話題になっていた。今年度実施できるとよい。</li> <li>・昨年度、加納中において部活動見学を行わせてもらった。</li> </ul>
<p>配付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営方針</li> <li>・ランドデザイン</li> <li>・文部科学省作成パンフレット「コミュニティスクール2018」</li> <li>・桶川市学校運営協議会規則</li> <li>・加納小学校いじめ防止基本方針</li> <li>・次第</li> </ul>	